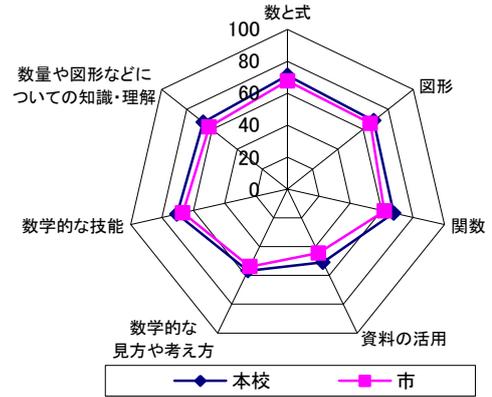


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	71.2	67.7
	図形	68.6	65.9
	関数	67.7	61.7
	資料の活用	50.9	44.4
観点別	数学的な見方や考え方	56.8	53.9
	数学的な技能	70.5	66.7
	数量や図形などについての知識・理解	67.0	62.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	この領域の平均正答率は宇都宮市の平均と比較して3.5ポイント上回る結果であった。「文字式の乗法の計算」では87.9%、「連立方程式の計算」の一番簡単な問題は83.5%の正答率であり、十分理解している生徒が多い。しかし、文章題から、正しい連立方程式を立式する問題は唯一、市の平均を3ポイント下回った。	この領域の授業ではチームティーチングで個別指導を丁寧に行ったため、基礎基本の定着を図ることができた。しかし、文章題から、問題を解く問題は苦手な傾向にあるため、応用問題や文章題を含めて問題を解くことができるように、丁寧に多くの問題を解かせていきたい。
図形	この領域の平均正答率は宇都宮市の平均と比較して2.7ポイント上回る結果であった。「球の体積を求める式」を選ぶ問題では12.7ポイント上回っていたが、「三角形の高さを作図する問題」「角度を求める問題」3問は市の正答率を下回った。	図形の合同では図形を定義や定理を定着させることが大切であり、3年生の相似につながる内容でもあるので授業の中で折に触れ、復習していくよう心掛ける。作図問題や角度を求める問題では問題練習が足りないので、授業で多くの問題を解かせるようにしていきたい。
関数	この領域の平均正答率は宇都宮市の平均と比較して6ポイント上回る結果であった。すべての問題で市の平均を上回った。特に1次関数の傾きと切片を求める問題は91.2%であった。ただ、1年で学習した比例・反比例を文章題で表す問題は33.2%しかできていない。	この領域に対しては苦手意識を持っている生徒が多い。式・表・グラフが頭の中でリンクするよう、色々なパターンを提示して、丁寧に指導していく。さらに、3年生で学習する「2乗に比例する関数」や関数と図形の融合問題にも対応できる力を育てていきたい。
資料の活用	この領域の平均正答率は宇都宮市の平均と比較して6.5ポイント上回る結果であった。すべての問題で市の平均を上回っているが、正答率は35.2%から66.5%と低い数値であり、基礎基本の定着が不十分である生徒が多い。	代表値や有効数字に対する理解が不十分であるようなので、既習事項をよく復習し、資料の見方や用語の意味などの基本的な内容の定着を図っていきたい。